

群馬大学大学院理工学府電子・機械部門 教員公募

1. 職 名 助教
2. 募集者名称 国立大学法人群馬大学
3. 所 属 大学院理工学府 電子・機械部門
(理工学部 電子・機械類 機械プログラム)
4. 業務内容 研 究
カーボンニュートラル社会に向けた環境負荷低減に資する革新的省エネルギー構造材の創製や応用に関する研究
教 育
・担当授業科目
(学部) 機械製図、機械力学材料力学演習、機械実験Ⅰ・Ⅱ
課題発見セミナー、課題解決セミナー、プロジェクト参加研究 等
・学部学生に対する教育・研究指導
・半谷禎彦教授と協力して、大学院生の研究指導補助
管理運営・社会貢献
・理工学部・理工学府の管理運営に関する業務
・理工学部・理工学府が進める高校生向け科学体験イベント等への参画・協力
・群馬大学重点支援プロジェクトへの参画・協力
5. 勤 務 地 桐生市天神町 1-5-1 桐生キャンパス
6. 募集人数 1 名
7. 採用予定日 令和 8 年 10 月 1 日 (以降のなるべく早い時期)
8. 専門分野 大分類：ナノテク・材料 小分類：構造材料、機能材料、材料加工
大分類：環境・農学 小分類：環境負荷低減技術、リサイクル技術
大分類：ものづくり技術 小分類：材料力学、機械材料、加工学
9. 任 期 5 年
再任(5 年) 1 回まで可。任期中に業績評価・審査を行い、適任となった者は任期の定めのない教員として雇用する。定年は満 65 歳の年度末とする。

10. 応募資格 次のいずれも満たす者
- (1) 博士の学位を有する方、あるいは着任までに博士学位取得予定の方
 - (2) 「7. 採用予定日」(令和8年10月1日)時点において、修士の学位取得後、12年以内の者
 - (3) 機械工学・材料工学を基盤として、カーボンニュートラル社会に向けた環境負荷低減に資する革新的省エネルギー構造材の創製や応用に関する研究における優れた研究業績を有し、異分野融合領域において体系的かつ学術的に研究する意欲のある方
 - (4) 社会貢献業務、学部運営業務等に積極的に関われる方
11. 給 与 年俸制適用 退職手当あり
- 本学教職員就業規則及び2号年俸制適用教員給与規則に基づき、学歴・職務経験を考慮し基本給を決定
- ほか通勤・住居・扶養等の諸手当及び昇給制度あり
- 教職員就業規則
- https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022010.pdf
- 2号年俸制適用教員給与規則
- https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022085.pdf
12. 就業時間 8:30~17:15を基本として、専門業務型裁量労働制を適用
(1日7時間45分働いたものとみなす)
13. 試用期間 6か月
14. 休日・休暇 土・日、祝日法に基づく休日、年末年始(12月29日~1月3日)
年次有給休暇、特別休暇等
15. 社会保険等 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、労災保険
16. 受動喫煙防止措置の状況 敷地内禁煙(ただし、屋外指定箇所に喫煙場所設置)
17. 応募締切 令和8年5月11日必着
18. 提出書類 (1) 教員個人調書(本学所定様式)
(2) 教育研究業績書(著書・学術論文等の総括表を含む)(本学所定様式)
(3) 科学研究費補助金等の受給状況(本学所定様式)
(4) 査読付き学術論文5編以内の別刷りまたはコピー
(5) これまでの研究概要(1000字程度)

(6) 研究、教育および地域貢献に関する抱負(1000字程度)

19. 書類送付先 〒376-8515 群馬県桐生市天神町一丁目5-1
群馬大学大学院理工学府 電子・機械部門
機械プログラム長 岩崎 篤
簡易書留にて「電子・機械部門 機械プログラム分野教員応募書類」と
朱書きのうえ、郵送願います。
なお、提出書類は原則として返却いたしません。

20. 選考内容 書類選考の後、必要に応じて面接を行います。
面接等実施に伴う旅費・宿泊費等の諸経費は応募者負担

21. 問い合わせ先 群馬大学大学院理工学府 電子・機械部門
機械プログラム長 岩崎 篤
電話: 0277-30-1535
e-mail: aiwasaki(\$)gunma-u.ac.jp (\$)は@に置き換えてください。

22. その他

- (1) 応募書類に記載された個人情報は、本選考以外の目的には使用しません。
- (2) 群馬大学では、研究者の多様性を高めるため、若手研究者や女性研究者、外国人研究者の採用促進に取り組んでいます。若手研究者や女性研究者、外国人研究者の研究環境を整備するための支援として、着任時に、スタートアップ経費を配分します。
- (3) 若手、外国人若しくは海外経験のある日本人の採用を積極的に行います。
- (4) 若手研究者(採用年度の年度末年齢39歳以下)、女性研究者、外国人研究者については、研究環境を整備するための支援として、着任時に、スタートアップ経費を配分します。

(リンク先: https://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/support_links/)